

新年のご挨拶 院長 濱中喜晴



謹んで新春の
およろこびを
申し上げます
本年が新たな
希望に満ちた
年になりますよう
心より祈っております



県立安芸津病院は「地域に密着した病院」を目指しています。

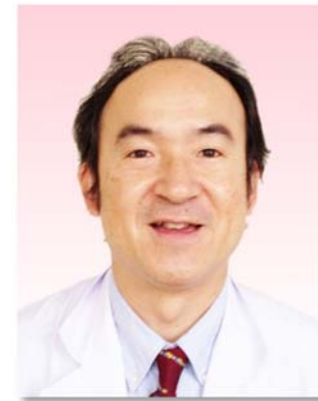
- ① 「地域に密着した病院」とは、病院での入院治療だけでなく、退院後も地域で安心して生活できるように、地域の医療機関や福祉・行政などの皆さんと協力して、在宅療養を支援していく病院です。今年も地域の皆様と連携して、住み慣れた地域で望む生活ができるように、地域包括ケアシステムを充実させていきます。
- ② 「地域に密着した病院」とは、地域の医療機関や福祉施設をバックアップして、必要な入院治療や救急医療を行う病院です。当院は夜間・休日の二次救急当番を行っています。平日の二次救急当番日は月曜と木曜です。(安田病院は火曜と土曜。馬場病院は水曜と金曜です。) 当番日以外の日も、一次救急医療(電話で相談を受けて、当院での受入れが可能な場合)は行っています。当院での受入れ困難な場合には、竹原地区の二次救急当番病院へ受診していただくよう、お願いしています。安芸津・竹原地区の救急医療体制を存続させていくために、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。
- ③ 「地域に密着した病院」とは、「健康長寿」の地域づくりを支援する病院です。医療公開講座や出前講座において、また地域の催しへの参加を通じて、転倒予防体操の普及や健康に対する意識を向上させ、予防医療を推進します。検診(健診)受診率を高めるように働きかけ、胃や大腸の内視鏡検査などによる病気の早期発見にも努めます。

今年は、外来診療システムや手術システムの業務改善を試みます。長年慣れた方式には、良いところもあると思いますが、これから先のことを考えて、改変を行っていきますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

今年は、在宅医療もますます推進していきますので、住みよい地域を作っていくように、皆様と協力して頑張っていきたいと思っています。

県立安芸津病院は、身近で気軽に「何でも相談できる医療機関」となれるように、今年も一つ一つ取り組んでまいりますので、皆様のご指導・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

新年のご挨拶 副院長 後藤俊彦



新年あけましておめでとうございます。まさに冬真っ只中ですが皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか?寒さが続くと運動する気になれず家で炬燵の守りをしてしまいがちですが、それでは体がなまってしまいます。家の中でもラジオ体操などで体を動かす少しでも運動不足の解消に努めましょう。私は運動できないときは体をほぐすため野球のピッチャーの投球動作を繰り返し行うようにしています。所謂シャドーピッチングです。大きく振りかぶり体を捻り腕を振り下ろします。半分くらいの力で、決して全力で行いません。もちろんボールを投げるわけではありません。しかしこれがなかなか具合がいいのです。どんな方法であれ自分なりに体をほぐす方法を見つけ実行していれば転倒予防やけがの予防にもつながるでしょう。私の2人の友人はそれぞれテニスの

素振り、バットの素振りなどで体をほぐしています。要するになんでもいいのです。自分が慣れ親しんできたスポーツ、体操などを短時間に軽く行う習慣をつけましょう!

さて私はと申しますと昨年は例年同様外来診療、病棟診療、手術、会議、学会活動、論文作成などの日常業務に追われる毎日でした。当院整形外科のメインテーマは下肢人工関節置換術ですが、昨年4月から赴任しました高田医師が膝のスポーツ整形外科を専門としており、診療の対象が高齢者中心から中学・高校生などの若年層にも拡大しました。スポーツ外傷に対応できるようになったため遠方の病院まで出向かなければならなかった膝靭帯損傷、半月板損傷に対応可能となりました。皆様のお子様やお孫さんがスポーツ時の痛みや怪我で悩んでおられましたら是非ご相談ください。さらに整形外科以外でも当院にはその道の専門医が多数在籍しており、わざわざ遠方の病院まで行かれなくとも治る可能性が高いのです!**もったいない!** 今年も安芸津病院を皆様の健康寿命延伸のために是非ご利用いただきますようお願い申し上げます。

新年のご挨拶 副院長 重松静香



新年明けましておめでとうございます。新しい年のスタートに当たりご挨拶申し上げます。

昨年も、病院理念にあるように地域の皆様の健康と暮らしを支えるために力を尽くそうと職員一丸となって取り組んだ一年でした。社会的には入院患者様は高齢化が進み、疾病の重症化・高齢化に伴う疾患の増加により、医療・看護の必要度もさらに高くなっています。看護には、より高い知識と技術が要求されるとともに、病気の回復のためにはお一人おひとりの気持ちに沿った細やかな心配りの態度が何よりも大事と考えます。

昨年を振り返りますと、初めて大がかりな外来患者様へのアンケートを行いました。当院に対する率直なご意見やご指摘とともに、9割以上の方がほぼ満足しているとの内容でした。外来受診時の看護をさらに充実

したものに職員一同で実践していこうと思っています。また、新たな取り組みとして、地域の志あるボランティアの方に力を借りて、院内デイケアや外来患者様のお役にたてるような総合案内の充実・認知症の患者様への読み聞かせ・傾聴などを始めました。また、住み慣れた地域で暮らし続けるために入院患者様が退院されるときや入院中から医療と介護を連携しようと退院支援に力を入れ、地域のケアマネジャーとの会を発足しました。地域の多職種との連携と情報の共有ができるカンファレンスは、地域にとってとても有効です。例年同様に医療公開講座・夏祭りや火とグルメ安芸津フェスティバル・地域のサロンへの訪問など地域と密着した活動も続けています。

看護部理念である「おもてなしの看護・一期一会の看護」は、やさしさと思いやりの心で看護を提供し、患者様の安全と安心、信頼と満足度を高めたいと思います。今年も地域の皆様のお力になれるように、皆様の声に耳を傾けながら頑張りますので、よろしくお願い申し上げます。